ユーザーマニュアル

Freedom
to
move

マッスルトレーナー（）

PC ソフトウェア

重　　要！

本装置を操作する前に、本説明書をよくお読みいただき、またいつでも参照できるようきちんと保管ください。

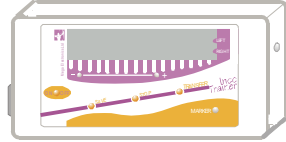
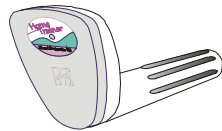
危険　この記しのある条項は、機器その他に損傷を与えたりする可能性があることを説明しています。

警告　この記しのある条項は、人に死亡又は重傷を与える恐れのあることを説明しております。

注意.　この記しのある条項は、機器に損傷を与えたり、その他注意を促す件について説明をしております。

目　次

2.3 サポートされている装置

:Femi Scan パソコンソフトウェアは以下の Femi Scan 装置に対応しています。

クリニックシステム本体(ICTRA)　Clinic System Unit (ICTRA)

ホームトレイナー(HMTR)、グレイ　Home Trainer (HTCS), grey

NOTE! パソコンソフトウェアをご使用する前に上記のいずれの装置をソフトウェアに使用しているか確認をして下さい

1.1 インターフェース構成

1.1.1 ホームトレーナ使用時のＵＳＢインターフェイス

ホームトレーナ (HTCS-2) を使用する際、 USB インターフェイス(HTIFO-4) は、装置とコンピュータの間に接続します。正しい USB ドライバーがＰＣソフトウエアの設定時にインストールして下さい。 (2.2 インストール参照).

コンピュータの USB ポートに USB インターフェイスを接続して開始してください
インストール時に使用した USB ポートと同じところで使用してください。

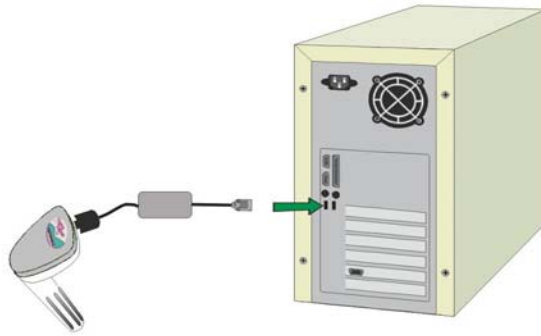



Figure 2-12. USB interface for Home Trainer and Multi Trainer

1.1.2 シリアルインターフェイス (RS-232)

もし Clinic System (FS-ICTRA)使用していてコンピュータに USB がない場合は、シリアルインターフェイスを使用してください。

2.3.2.1 ホームトレーナ (HTCS-2)

１、コンピュータのパワスイッチを切って下さい.
２、シリアルインターフェイス (HTIFO)をコンピュータ シリアルポート (RS-232) (COM1, COM2 …etc.)に接続してください。
３、ネジで留めて下さい.
１、 コンピュータのパワースイッチを入れてください。

Figure 2-13. Attaching the Serial interface between Home Trainer and PC

2.3.2.1 クリニックシステム (FS-ICTRA)

１、パソコンの電源を切ります
２、クリニックシステムのインターフェース (FS-MEIFS)をシリアルポート (COM1, COM2 …etc.)に接続します。
３、ネジを留めます。.
４、PC のスイッチを入れます。

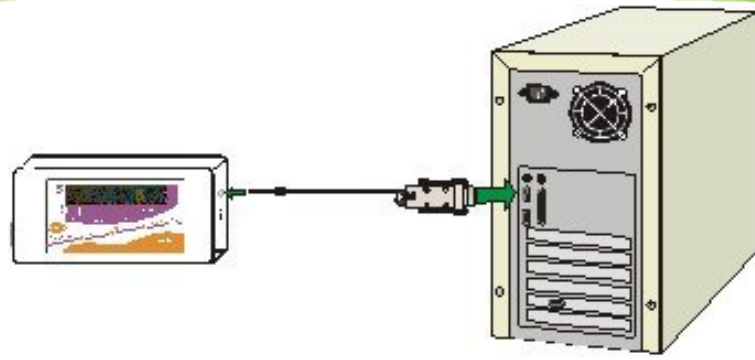



Figure 2-14. Attaching the Serial interface between Clinic System unit and PC

1.2 環境選択

1.2.1 装置と COM ポート選択

ソフトウェアとインターフェースをインストールしたら、選択した装置、シリアルポート、言語が正しいか確認をします。

1、デスクトップより Femi Scan を起動させます。.
2、Tools を選択⇒Preferences⇒Device tab

Figure 2-15. Preferences – Device tab

選択した初期設定 online と offline 装置が正しく選択されているか確認をします。
次に PC インターフェースのCOM ポートを選択します。

Save をクリックし選択した preferences を確認します。
これで Femi Scan ソフトウェアを測定として使用することができます。

必要に応じて、言語を変更して下さい。次の Chapter 参照

1.2.2 言語選択

Tools を選択⇒Preferences⇒General tab

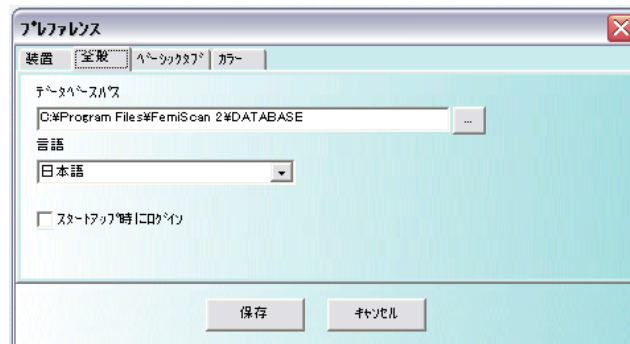



Figure 2-16. Preferences – General tab

1、 Language drop-down リストより、言語を選択します。
2、Save.をクリックします。

1.2.3 Database Path（データベースパス）

1、Tools を選択⇒Preferences⇒Device tab(図 2 - 12 参照)
2、Database path のパスを押すか、...ボタンでデータベースを検索します。
3、Save.をクリックします。

初期設定では、データベースフォルダは FemiScan root フォルダの下に設定されています。通常、このフォルダを規定したり、選択する必要はありません。

1.2.4 立上げ時のログイン

もしログインがチェックされてる場合フェミスキャンプログラムは、正しいユーザ名とパスワードを入力したあとにスタートします。

1、Tools ⇨ Preferences ⇨ General の順に選択しますもしこれにチェックを入れた場合メインユーザー名とパスワードを入れてください。

2、 OK .ボタンをクリックしてください。

メインユーザーの可能操作

- 新しいユーザーとユーザー名を作成しユーザー名とパスワードを与えることが出来ます。 (Basics のユーザー項目)
- ユーザーを削除
- パスワードの変更
- ユーザーの可能操作
- 自分のログインのパスワードを変更できます。

2.4.4.1 ログイン時のパスワードの変更

1、ユーザー名とパスワードを入れます。
2、Change password をクリックします。
3、新しいパスワードを入れます。
4、新しいパスワードを確認します。
5、OK をクリックします。
6、新しいパスワードでログインしてください。

2 ホームトレーナー

2.1 アップロードとダウンロード

①ホームトレーナ画面を開くためにホームトレーナボタンを押す。

②アップロードタブを選択します。

③正しいホームトレーナモデルを装置タイプ（ＨＴＣＳかＨＭＴＲ）を選択します。
④もし特定の装置を基本画面で選択したならそれを装置ドロップダウンリストから選択出来ます。
⑤ドロップダウンリストからトレーニングプログラムを選択します。アップロードタブに装置に送られる目標レベルが表示されます。

.

⑥最大筋出力値は、次の様に決めます。

⑦Maximum Response settings. をクリックします。

① 図９－１ホームトレーナアップロードタブ

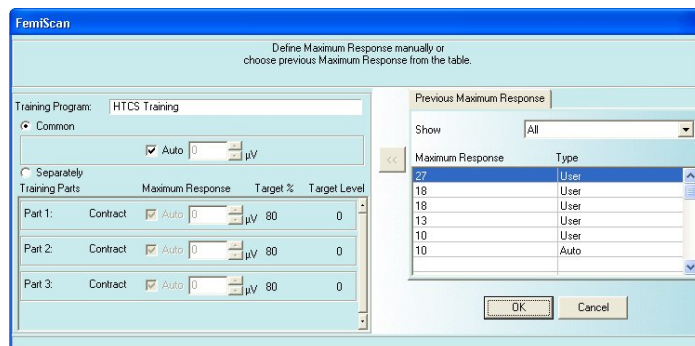



図９－２ホームトレーナ最大筋出力設定

基本的に　全てのプログラムに対して最大筋出力値は、決めることができます。
個別に　各々のパートに対して最大筋出力値は、決めることができます。
もし Auto　Check　Box を選択した場合　最大筋出力は、ホームトレーニングの間ホームトレーナにより自動的に測定されます。
もし手動で最大筋出力を設定してその時 AUTO を選択した場合前回の結果を無効にします。右側の画面から前回の最大出力値を選択することが可能です。それを選択するか<<ボタン、（前回の全ての最大出力値を見ることが出来ます）を選択してまたは別に個々のトレーニングプログラムトレーニングプログラムから開くことが可能です。最大出力値を決めた後、ＯＫで確認をして下さい。

①ホームトレーナがＰＣに接続していることを確認してください
②Upload をクリックしてトレーニングプログラムをホームトレーナにアップロードしてください。アップロード中、プログラムは、シリアルナンバーと電池の状態を検索します

③結果がもし装置よりダウンロードされていない場合プログラムは、知らせます。

2.2 ダウンロード結果

.
ホームトレーナ画面を開くためにホームトレーナボタンを押す

図９－３　ホームトレーナダウンロードタブ

①ダウンロードタブを選択します。
②ホームトレーナがＰＣに接続されていることを確認してください
③ダウンロードを実行する為に Download. をクリックしてください
④プログラムは、シリアル番号とバッテリーの状態を検索します

トレーニングプログラムをアップロードしたのと異なるＰＣにダウンロードするとき、プログラムは、適当なトレーニングプログラムを捜してどの結果と結合とするかを選択させます。もしなかった場合は、新しいのを作成してファイル名を作るように指示します。

フォルダを開くとダウンロードされたファイルの状態を確認できます。

図９－４　ホームトレーナダウンロード状態

NOTE!

患者さんの新しいホームトレーニング期間に入る前にホームトレーナにトレーニングプログラムをアップロードすることを行って下さい。アップロードは、前回のプログラムを削除します。その結果ホームトレーナは、新しい結果を入れることが可能です

.

3　測定結果

Results

結果画面を開くために「Resuts」ボタンをクリックします。測定タブを選択します。
結果は、選択された患者さんのものが表示されます。左側に測定結果が示されます。
測定フォルダ、特定の測定結果を選択したとき平均された結果が右側に表示されます。

測定結果のファイル構造は、次の通りです。

測定フォルダ
Care　Period　フォルダ
Free　Measurement　フォルダ　（Free　Measurement　）の結果が記録されている。
Trining　Measurement　フォルダ（Trining　Measurement　）の結果が記録されている。
Home　Training フォルダ（Home　Training　結果１）の結果が記録されている。
（Home　Training　結果２）の結果が記録されている。

10.1　表示

3.1.1 結果の選択

①　測定フォルダを選択する
②　必要とされる「ケアーピリオド」を開く
③　必要とされるフリー測定／トレーニング測定／ホームトレーニングを開く、測定結果を選択する。

11.1.2002
Show.をクリックする。

3.1.2 結果レベル

View 画面で開く結果は、結果のタイプに従って表示されます。

フリー、トレーニング測定

.全ての結果は、曲線カーブで表示されます。

ホームトレーナ (HTCS)

測定してない測定結果は、繰返レベルで表示されます。　全てのデータは、表示されます。結果レベルは、各々の結果に可能です。次の表のとおりに表示されます。

	Curve	Part	Series	Repetition
Free Training	可能			
Training Measurement	可能	可能	可能	可能
Home (HTCS/MTR)		可能	可能	可能

3.1.3 結果画面

結果画面（カーブレベル表示例

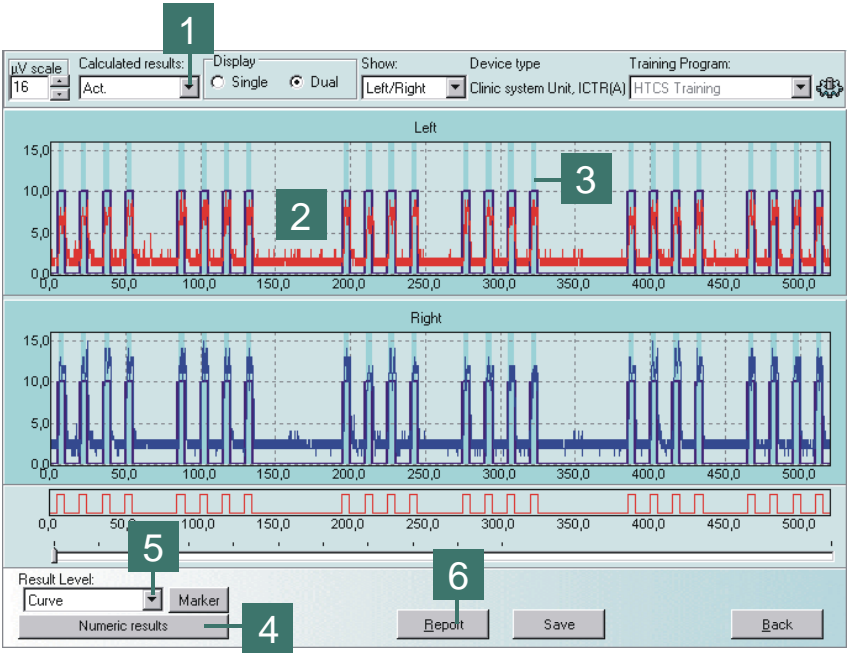



図１０－２数値結果画面

① 計算された結果の選択
ドロップダウンリストの計算された結果は、選択したところから全て表示できます。

② ズーム
ズームメニューを開くために描画エリアで右クリックします。

③ 計算エリア（Curve　レベルのみ可能）
ズームと同じ方法で計算エリアを設定できます。.

④ 数値結果
Numeric resultsボタンをクリックすると数値の結果が表示されます。.
数値結果は、グラフの結果と一致します。右と左チャンネルを表示し、平均値とそれぞれ左右の異なる値を表示します。数値結果は、また全ての平均値も表示します。仕事計算では、全ての結果の合計を表示します。

⑤ 結果レベル画面
結果レベルのドロップダウンリストは、可能　オプションを表示します。（Curve、Repetition、Part、Series）

⑥ レポート
印刷する為 Report をクリックします。

3.2 結果の変数

3.2.1 (Act.)活動量

活動量（μＶ）は、筋収縮の平均レベルの活動量です。
トレーニング測定では、結果は、筋収縮アイコンを使用して測定されたデータから計算されます。
始めの収縮から最後の弛緩まで計算エリアをスライドさせることで各筋収縮、筋弛緩、から最大平均値
を計算する。
計算エリアの幅は、トレーニングプログラムで定義した収縮時間０．５秒　総合結果は、全ての収縮、弛緩の結果の平均値です。
自由測定では、結果は、筋収縮に一致した活動エリアから計算されます。
活動持続時間は、最低１秒以上です。最低弛緩レベルの４μＶ以上でないといけない
プログラムは、平均結果に一致した活動量から計算します。
計算エリアの幅は、活動量の持続時間です。
ホームトレーナの結果はトレーニング測定結果において同じ方法を使用して計算されます。

3.2.2 （Peak）ピーク

ピーク値（μＶ）は、０．３秒の筋収縮時間の最大平均値を計算します。
この結果は、クリニック測定データのみ計算されます。
トレーニング測定では、結果は、筋収縮アイコンを使用して測定されたデータから計算されます。
始めの収縮から最後の弛緩まで計算エリアをスライドさせることで各筋収縮、筋弛緩、から０．３秒の計
算エリアの最大平均値を計算する。
総合した結果は、全ての収縮と弛緩結果の平均です。
フリー測定では、計算の原理は、活動量計算と同じです。計算エリアは、０．３秒の時間です。

3.2.3 （Speed）スピード

スピード（μＶ／ｓ）は、弛緩レベルから最大収縮レベルの筋活動の変化として計算
されます。
この結果は、クリニカル測定からのみ計算されます。
トレーニング測定で結果は、収縮アイコンを使用して測定されたデータから計算されます。プログラムは、収縮レベル、弛緩レベル、（4μＶ）以上の活動量レベル、最低１秒以上持続している活動量の時間部分で計算します。
フリー測定において計算方法は、同じです。総合結果は、活動量の平均です。

3.2.4 （Work）仕事量

仕事（μＶｓ）は、筋活動の合計です。活動曲線より低いエリアと一致します。
この結果は、クリニック測定のみから計算されます。
トレーニング測定で結果は、収縮アイコンを使用して測定されたデータから計算されます。プログラムは、１つの収縮、弛緩部分から計算されます。
総合結果は、収縮と弛緩値の全ての合計です。

3.2.5 （Reaction）反応

反応は、ビープ音から筋活動が起こるまでの経過時間です。
この結果は、トレーニング測定データからのみ計算されます。
トレーニング測定では、結果は、反応アイコンを使用して測定されたデータから計算されています。

もし咳、収縮、スクワットにより筋の活動が起こった場合以下の状態を加味してプログラムは、結果を計算します。
①0.３秒以上ビープ音から筋活動が起きるまでの時間
②４μＶ以上の筋活動
③１秒以上の持続時間
結果は、全ての反応活動量の平均です。

3.2.6 （Relax）弛緩

弛緩（μＶ）は、収縮と収縮間の最小平均レベルとして計算されます。
この結果は、トレーニング測定データのみ計算されます。
トレーニング測定において結果は、弛緩アイコンを使用して測定されたデータから計算されます。
始めの弛緩から最後の弛緩まで計算エリアをスライドさせて各弛緩の最少平均レベルを計算計算します。計算エリアは、２秒間です。
総合結果は、全ての弛緩結果の平均です。

.

3.2.7 腹筋チャンネル

腹筋チャンネル結果は、腹筋の最大値を計算します。
これはクリニックシステム使用のみ測定が可能です。
この結果を表示する為オプション画面上（オプションボタンにより）にこの数値を出す必要があります。

3.3 ユーザー結果

プログラムの結果は、いつも自動的に計算されて、変更ができない
ユーザーは、数値的な変更をすることが出来るプログラムのイニシャル結果として
それをユーザー結果として保存できます。
変更は、
マーカーを追加
削除／再保存１つの Reputition
削除／再保存１つの Training　Series
削除／再保存１つの Training　Part
計算エリアの幅の変更

☞

3.3.1 マーカーの追加

マーカーの追加は、カーブモードデータのみ有効です
１、[marker]ボタンをクリックする
２、希望する位置にカーソルを動かしてクリックする
３、浮き出たウインドウにマーカーのタイプを選択する
　動き　患者さんの動くまたは変化する位置
　Note　標準マーカ
４、「ＯＫ」クリック

.

3.3.2 結果の変更

10.3.2.1 追加と削除

Repetition／Series／Part の削除、再保存の方法は、同じように行う
１、Repetition／Series／Part のうえにカーソルを置く
２、右クリックして削除か追加を選択します。追加できるのは、削除されたデータのみです。
実行は、チャンネルごとに行います。

Repetition／Series／Part の削除、再保存の方法は、同じように行う
１、Repetition／Series／Part のうえにカーソルを置く
２、右クリックして削除か追加を選択します。追加できるのは、削除されたデータのみです。
実行は、チャンネルごとに行います。

10.3.2.1 計算エリアの変更

①計算エリアの境界線にカーソルを置きますそこに２方向の⇔が現れます。
②クリックして境界線をドラックしたまま希望する場所に持って行きそこで放
します
③プログラムは、その時新しいエリアで計算を行います。
④実行は、チャンネル毎です。

10.3.2.1 保存、再生

変更を行った後ユーザー結果を保存して後にそれらを再生します
①ＳＡＶＥボタンをクリックする。
②再生するために変更されない結果を作ってユーザ結果に保存することが出来ます。

.

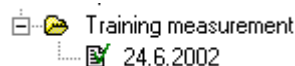
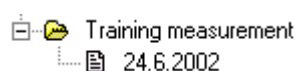
NOTE!

１件のみのユーザー結果を作ることが出来ます。新しいユーザー結果は、前回のユーザー結果に上書きします

測定アイコンにより　ＦＳ結果とユーザー結果の両方の結果、ＦＳ結果のみ、ＦＳ結果と
実行しないユーザー結果を区別できる。
フェミスキャンの結果のみ　　　フェミスキャン結果とユーザー結果
ＦＳ結果と実行しないユーザーデータ

もしユーザの結果を持つ結果を選択するなら表示するか変更しないデータを作るか選択してください。

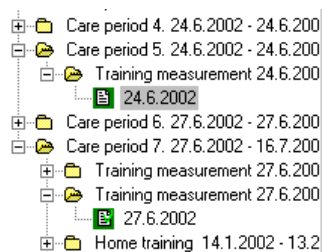
Training measurement
24.6.2002

Training measurement
24.6.2002

1. 結果を表示する為に Show をクリックしてください。

Show
FS results
User result
Use as default
FS result

3.4 結果の比較

２つのトレーニング測定を比較できます
① 最初のトレーニング測定のファイル名の上をクリックします
② Ｃｔｒｌキーを押したまま２番目のトレーニングプログラムをクリック

Care period 4. 24.6.2002 - 24.6.200
Care period 5. 24.6.2002 - 24.6.200
Training measurement 24.6.200
24.6.2002
Care period 6. 27.6.2002 - 27.6.200
Care period 7. 27.6.2002 - 16.7.200
Training measurement 27.6.200
Training measurement 27.6.200
27.6.2002
Home training 14.1.2002 - 13.2

1. 表示画面を開く為に Compare をクリックします。

Compare by Act.(µV)

Training measurement 25.6.2002

	Act.(µV)
Left	14,66
Right	15,09
Aver.	14,88
Diff.	-0,43

Training measurement 25.6.2002

	Act.(µV)
Left	10,8
Right	10,65
Aver.	10,73
Diff.	0,15

Improvement	Left	Right	Aver.
Absolute (µV)	-3,86	-4,44	-4,16
Relative (%)	-26,34	-29,43	-27,89

Delete Back Follow-up Show Report Close

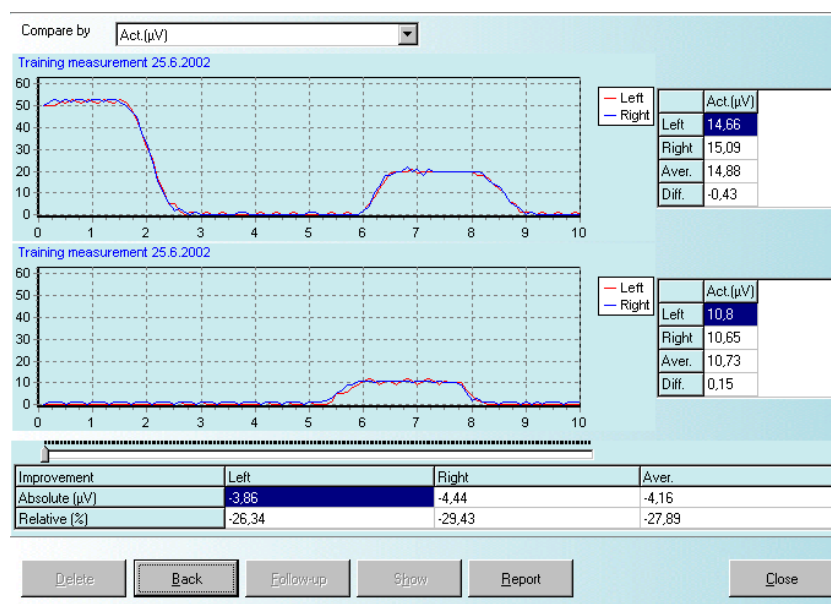



図１０－３比較画面

比較画面が出来ること
①異なる結果の変数の比較を選択する
②ズーム
③スライドノブでカーブ曲線をスクロールする
④ＲＥＰＯＲＴで比較レポートを印刷する。
⑤比較画面で平均値と絶対値と相対％の間の進展を表示する。

3.5 （Follow UP）フォローアップ

フォローアップの結果は、全ての測定が表示できます。結果フォルダと個人結果から選択出来ます
① 始めに結果フォルダと個人結果から選択出来ます
② Ｃｔｒｌキーを押したまま２番目のトレーニングプログラムをクリック
グレー背景は、結果が選択されたかを示します
③ フォローアップをクリックする。

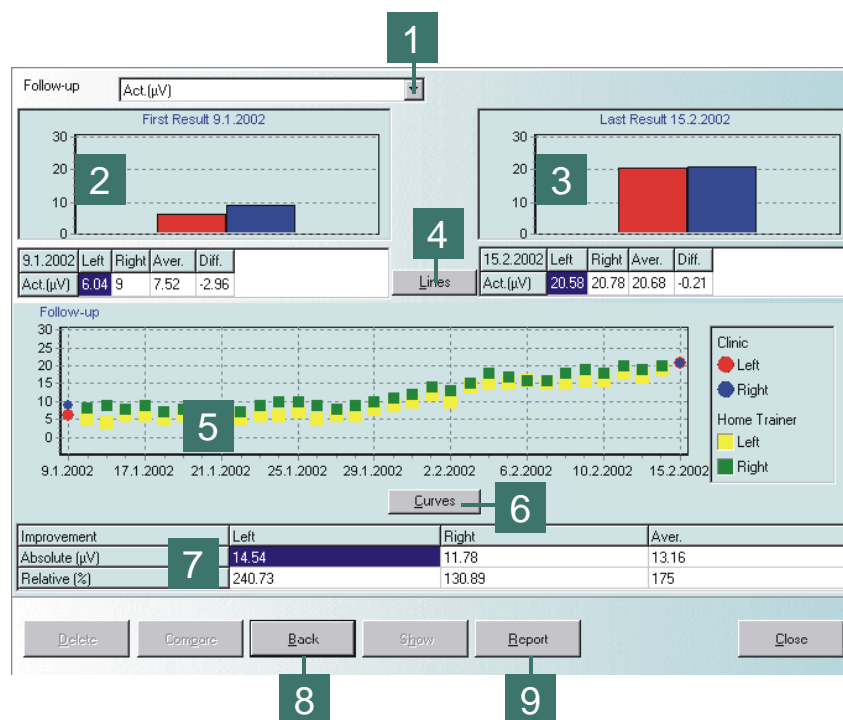



図１０－４フォローアップ画面

フォローアップ画面で可能なこと
結果変数の選択
② フォローアップで最初に選択した結果
③ フォローアップで最後に選択した結果
④ バーかラインか表示方法の変更
⑤ フォローアップする為の描画エリア
この描画エリアでズーム追加機能があります。ズームを選択する。
左から左ドラックしながら右の下方向に長方形を描く様に動かすとズームになり
その逆方向が逆ズームになります
⑥ フォローアップエリアでシンボルのみかシンボルと線が付いてるものと
⑦ 結果の進展（数值）
これらの結果は左右の進展と絶対値（μＶ）と相対%の中の平均値の進展
最初と最後の測定から計算された結果です
⑧ Backボタンで前の画面に戻ります。
⑨ Reportでフォローアップれ＠ポートが印刷できます。

4 アンケートの結果

Results

結果を表示する為に「Results」ボタンをクリックします

「Queries」タブを選択します。「FemiQueries」フォルダーを選択します。
「FemiQueries」は、選択された患者さん全ての質問の結果です。

1. 選択したい質問結果を選択します。右側に結果が表示されています。
2. フォローアップを画面を開きたい場合は、Follow-up をクリックします。

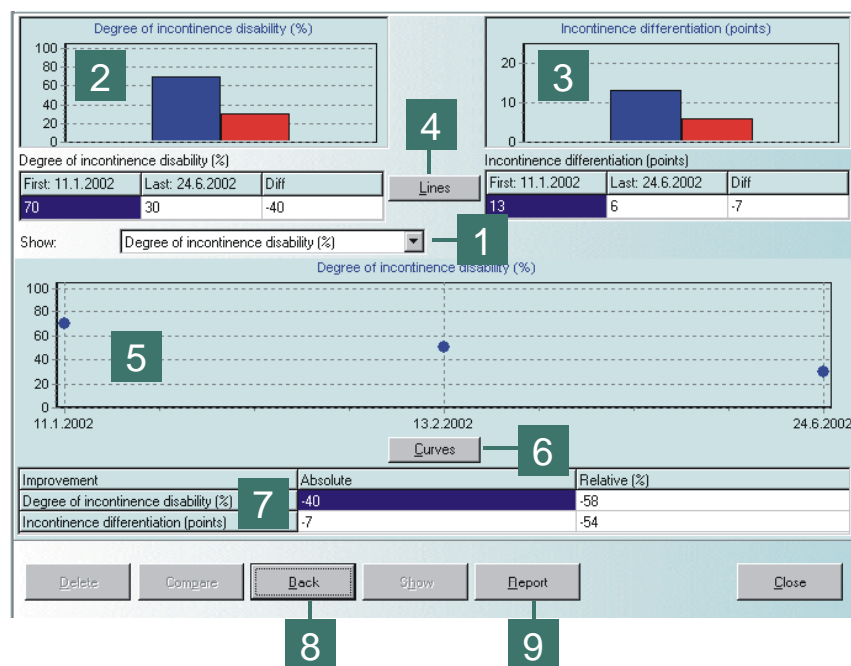



図１１－１質問フォローアップ

画面機能は、次の通りです。

① 結果変数の選択
② 1 回目の質問結果表示
③ 最後の質問結果表示
④ グラフ表示選択　　棒グラフか折れ線グラフ
⑤ 線表示に対する結果変数選択
⑥ フォローアップ表示　　線か点か
⑦ 改善度計算（1 回目と最後）
⑧ 「BACK」ボタン前回の画面に戻ります
⑨ [Report]ボタンは、フォローアップレポートを印刷します。

5 インポート/エクスポート

コンピュータ内でトレーニングプログラムの移動をおこなうインポート、エクスポートツールを使用できます。
メインメニューより Import、Export を選択します。

5.1 トレーニングプログラムのエクスポート

1. エクスポートタブを選択します.

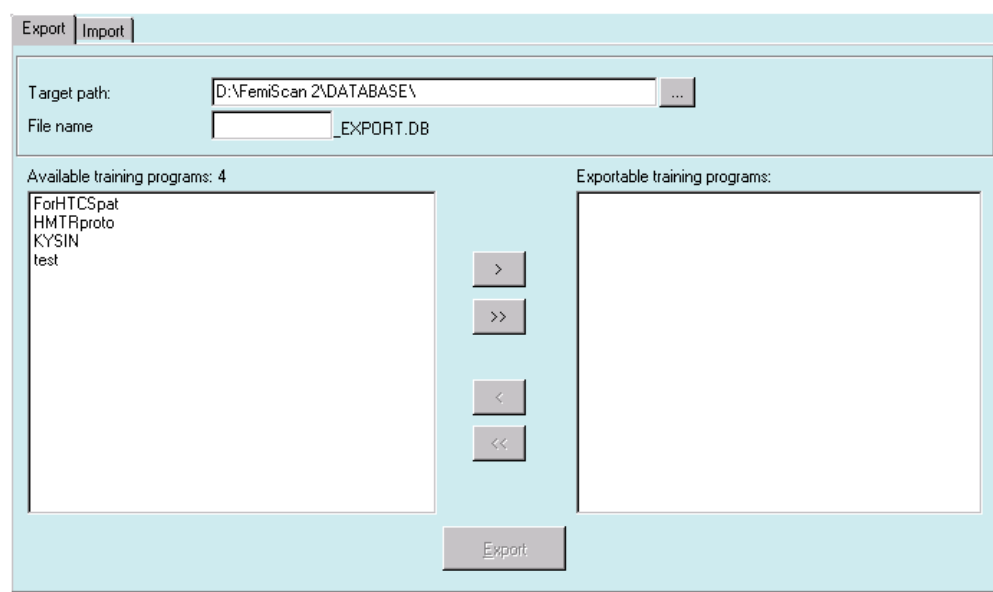



図１２－１エクスポートタブ

① エクスポートする為に正確な転送先を指示してください。もし必要であれば ... ボタンを使用してください。
② エクスポートするファイルのファイル名、型式においてファイル名は、最後に EXPORT,DB と付きます。このファイルは、全てのエクスポートされたトレーニングプログラムを含んでいます。
左側にはエクスポート可能なトレーニングプログラムが表示されています。
③ 選択されたトレーニングプログラムは、右側の「エクスポート可能」に表示されます。
トレーニングプログラムを選択するため　１つのプログラムの場合 < > ボタンを使用します。
④ また全てを選択する場合は、 << >> ボタンを選択します。
⑤ トレーニングプログラムを選択したあと目的の場所にファイルを作るために Export ボタンをクリックします。

5.2 トレーニングプログラムのインポート

1. インポートタブを選択します。

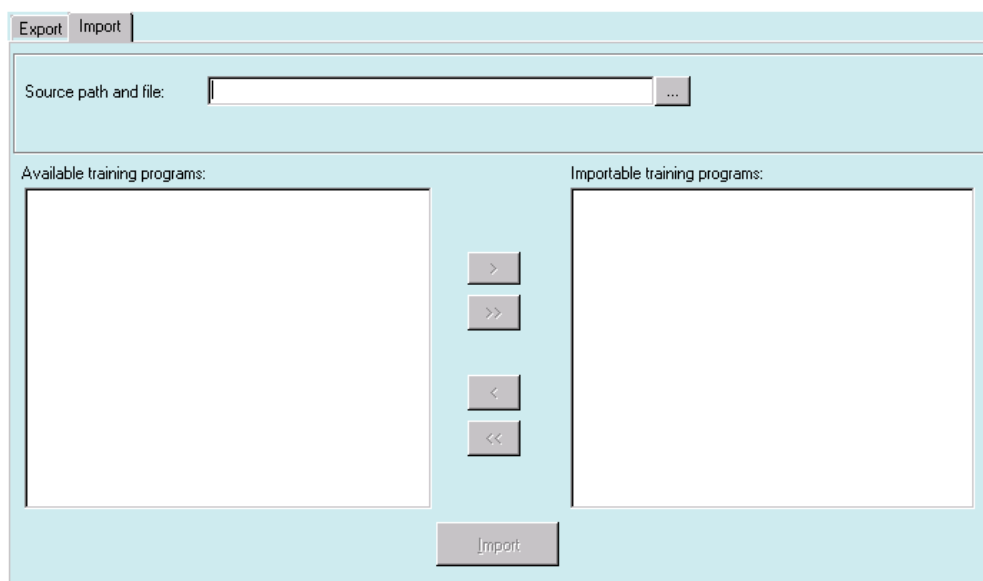



図 5-1. インポートタブ

2. ... ボタンを使用してインポートするファイルを選択してください
3. 選択されたトレーニングプログラムは、右側の「エクスポート可能」に表示されますトレーニングプログラムを選択するため　１つのプログラムの場合 < 　> 　ボタンを使用します。また全てを選択する場合は、 << 　>> ボタンを選択します。
4. トレーニングプログラムを選択したあと目的の場所にファイルを作るためにＩＮＰＯＲＴボタンをクリックします。.

NOTE!

もしフェミスキャンプログラムが既にトレーニングプログラムを持っている場合は、インポートするか聞いてきます。
もしインポートされたファイルが既に存在する場合は、新しい名前にする様に聞いてきます。

6 バックアップと再生

バックアップを行うことは不慮の事故などでデータを復帰させられるので、例えば週に１回行うことを勧めます。
メインメニューより Back　Up／.Restore を選択します。

6.1 バックアップ方法

1. Back　Up　タブを選択します。

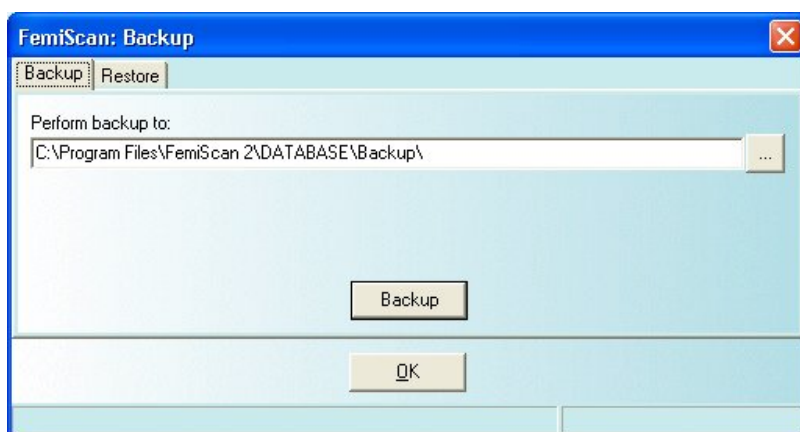



図１３－１バックアップタブ

2. バックアップ先のフォルダー名を入力するか...ボタンを使用してバックアップ先を選択します
3. バックアップを行うために Backup ボタンをクリックする。
4. 画面を閉じるために OK クリックします。

6.2 バックアップデータの再生

1. Restore タブを選択します.

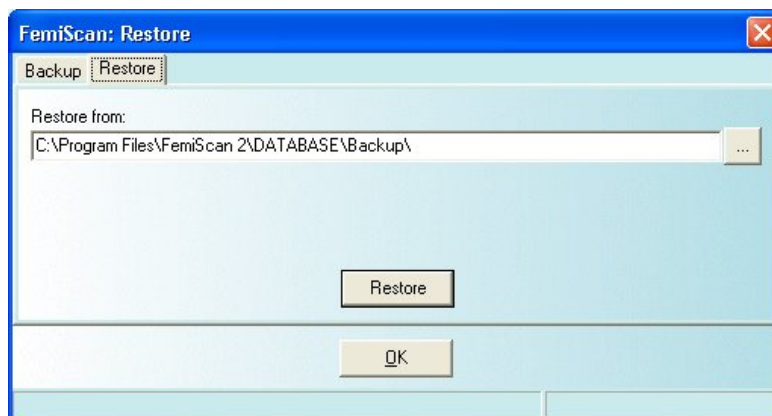



図１３－２Restore　タブ

2. バックアップフォルダー名を入力するか ... ボタンで選択します。.
3. Restore.をクリックします。
4. クリック OK. で画面が閉じます。

7 操作できない例外事項

もし操作できない例外が出てきた場合プログラムは、次の画面が開きます。この場合　フェミスキャンプログラムは、Restar ボタンをクリックして再スタートすることを勧めます。

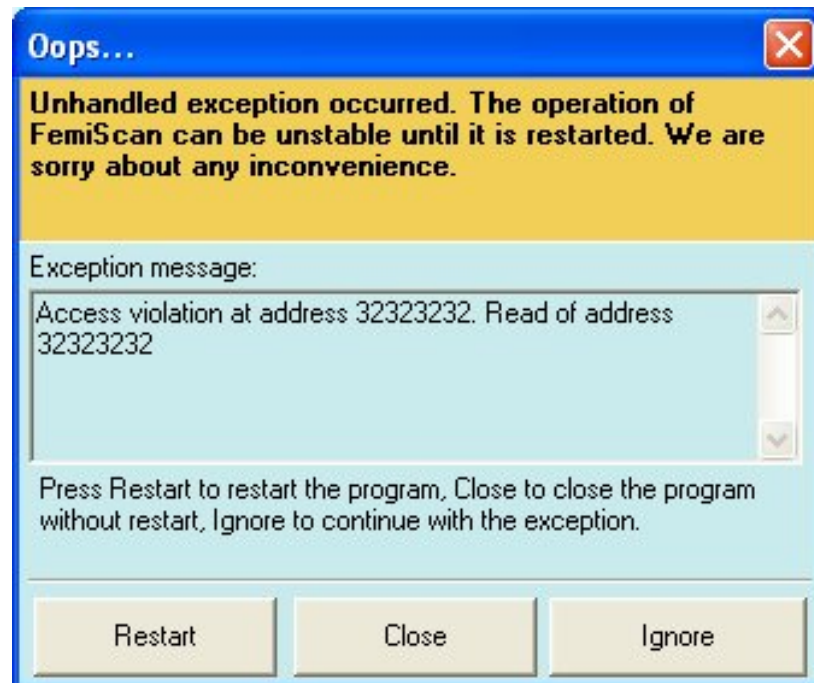
Oops...

Unhandled exception occurred. The operation of FemiScan can be unstable until it is restarted. We are sorry about any inconvenience.

Exception message:

Access violation at address 32323232. Read of address 32323232

Press Restart to restart the program, Close to close the program without restart, Ignore to continue with the exception.

Restart　Close　Ignore

8 トラブルシューティング

8.1 通常のトラブルシューティング

次のは、幾つかの共通した問題と故障についてのトラブルシューティングです。もしこれが問題解決にならなかったら最寄のディラーに連絡してください。

問　題　　　：クリニック測定が出来ない。ホームトレーナのアップロード／ダウンロードが出来ない
考えられる原因：ＰＣインターフェイスが繋がれてない。
[Preferance　Device]内の設定で間違ったＣＯＭ　ＰＯＲＴ、違う装置名が選択されている。
ＰＣインターフェイスが適したホームトレーナに繋がれてない。
ホームトレーナ（ＨＭＴＲ）使用時、クリニックシステム（ＩＣＴＲＡ）の使用時、光ファイバーケーブルが折れているか損傷している。ケーブルのさきが汚れている。
解決策　　　：　ＰＣインターフェイスの接続を確認してください。ＣＯＭ　ＰＯＲＴ、装置の種類の正しい選択がされているか確認してください。必要であれば設定を修正してください。ＰＣインターフェイスを適切に接続してください。光ケーブルを元通りまっすぐにしてください。ケーブルの先をきれいにしてください。もしそれでも問題がある場合は、新しいものと交換してください。

問　題　　　：トレーニングエディターが今あるトレーニングプログラムを検索できない
考えられる原因：　エディターは、２つのタイプがある。Home＆Clinic、Clinic
各々は、トレーニングプログラムを表示できます。
Home＆Clinic のトレーニングプログラムは、[Preferance　Device]内の設定で OFF　Line
を選択することで表示されます。またトレーニングプログラムが削除されてる場合
解決策①　適切なプログラムタイプ Home＆Clinic、Clinic を選択してください。
1. 正しい装置名を選択してください。③新たに新しい似たプログラムを作成してください。

問　題：今あるトレーニングプログラムを編集できない
考えられる原因：　トレーニングプログラムが既に使用中であったりホームトレーナにアップロードされている場合そのプログラムは、使用出来ません
解決策：トレーイングプログラムを選択して新しい名前で保存してください。

問 題 ：　患者さんの結果が見つからない
考えられる原因：　測定中、ホームトレーナのダウンロード中正しい患者名が選択されてない。
違う患者ファイルに保存されてしまう。
解決策：結果が前の患者さんの中で見つかった場合患者間でデータの移管が出来ません
その時だけその患者さんの結果を開くしかありません
今後このようなことがないように測定中、ホームトレーナのダウンロード中は、正しい患者名が選択されているか確認してください

問題：　患者の情報がなくなってしまった
考えられる原因：　もし New Person とクリックしなかったり前回の患者名を新しくしないと新しい患者は、「ＬＯＳＴ」Patient の上に作成されます。
解決策：　「ＬＯＳＴ」Patient を再生して New Person をクリックして新しい患者名を作成してください。

問題：新規または、アップデートした「Basic」タブ（患者命、診断、グループプロジェクト、ｅｔｃ）が保存されない
考えられる原因：新規または、アップデートした「Basic」タブの入力が終わった後に[SAVE]をクリックしてない
解決策：再度やりなおしてください。更に違うタブに行く場合必ず Save ボタンをクリックしてください

問題：　フェミスキャンツールバーが隠れた場合
考えられる原因：　メインメニューで File→tool　Bar　→　Show を選択してない
解決策：　上記の「Show」を選択してください。

15.2 Home Trainer

❖問　題: 測定データーにノイズがある。
➢ 考えられる原因: ホームトレーナを十分膣内に入れてない
✓ 解決方法: カバー電極をしっかり挿入してホームトレーナの膣内のポジショニングに合わせてください。

❖ 問題:コンピュータがホームトレーナを認識しない。.
➢ 考えられる原因: 1) コンピュータとホームトレーナの接続が不十分 2 クリニックセットのシリアルケーブル違うシリアルポートに接続されている。3)ホームトレーナの電池が少ないか、まったくないか
➢ 解決方法: 1 接続を状態を確認してください. 2) シリアルポートの挿し込みを変えてください。またシリアルポートの設定を変えてください Tools→*Preferences*. 3) 電池を入れかえてください

❖ 問題：ホームトレーナーからダウンロードしている時エラーメッセージが出る.
➢ 考えられる原因: ソフトウエアーが次の理由で通信していない 1）間違ったシリアルポートいｎ挿し込まれている 2)選択されているシリアルポートは、存在しない.
✓ 解決方法: 1)シリアルポートの挿し込みを変えてください. 2) シリアルポートの設定を変えてください Tools→*Preferences*

❖ 問題： On-line measurement スタートしない.
➢ 考えられる原因: ホームトレーナとコンピュータ間の通信が失われている
➢ 解決方法: ホームトレーナーの電池を確認して問題が解決しない場合は、最寄のディラーに問合せてください。.

8.2 修理対応を依頼する場合

最寄ディラー、メガ社に修理を頼む場合修理に出す前に以下の情報を調べてください。

不具合の簡単な記述
エラーメッセージ、確認されてること
使用している装置名
ＰＳタイプ、モデル（デスクトップ／ラップトップ／プロセッサー、ＲＡＭ　等）
他のインストールされてる装置（プリンター、シリアルアダプター、ディスプレーアダプタ）
ＯＳの種類
ＲＡＭに保存されているプログラムのリスト（e,g　Terminate　And　Stay　Resident　Programs）

✓

9 技術仕様

FemiScan™ PC Software

VALID FROM July 7. 2004 *SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE!*

Classification

General (unless otherwise specified below)

MDD Classification:	Class IIa
Compliance with:	MDD 93/42/EEC, EN60601-1:1998, EN60601-1-4:1999/A1

USA (only)

FDA 510(k) N:o	K993411
Regulatory class	Class II 21 CFR 884.1425/Procode: 85HIR 21 CFR 876.5320/Procode: 78KPI
Compliance with:	21 CFR Part 820, EN60601-1:1998, EN60601-1-4:1999/A1

Canada (only)

MDD Classification:	Class IIa
Compliance with:	MDD 93/42/EEC, EN60601-1:1998, EN60601-1-4:1999/A1, CAN/CSA-C22.2 No.601.1-M90

Overall system

Measuring range	
vaginal EMG:	0 – 4095 uV FS-ICTRA (default range 50uV) 0 – 255 uV FS-HTCS (default range 50uV)
abdominal EMG:	0 - 4095 µV (default range 120uV)
Measurement accuracy	
vaginal EMG:	± 2% or ± 2 µV (whichever greater)
abdominal EMG:	± 2% or ± 2 µV (whichever greater)
Measurement repeatability	
vaginal EMG:	± 1 µV
abdominal EMG:	± 1 µV

PC requirements

Minimum processor:	Intel PentiumIII 550 MHz - power management must be switched off
Free space on Hard Disk:	40 MB (for FemiScan™ PC Software and database)
Ports:	USB port (not in Windows NT) Serial port – if used with FS-ICTRA - buffered serial chip 16550AFN or compatible
CD-ROM:	one CD-ROM drive
Display:	Display card and driver - driver with small fonts installed - minimum resolution SVGA (800*600) and 16 bit colors
Sounds:	Sound card and driver

Operating systems

Compatible with:	Windows 98, NT service pack 6, ME, Windows 2000 or Windows XP - minimum RAM 128 MB - minimum RAM 256 MB for Windows XP

Compatibility with

FemiScan™ Clinic System

Clinic System FS- ICTRA	From revision FS-ICTRA-2 onwards From revision FS-ICTR-0 onwards
Clinic System Interface	FS-MEIFS (serial port) From revision HTIFO-4B onwards (USB)

FemiScan™ HomeTrainer Set

Home Trainer Set FS-HTCS	From revision FS-HTCS-2 onwards
Multi Trainer Set FS-MTR	From revision FS-MTR-1 onwards

FemiScan™ Clinic Set

Clinic Set Interface HTIFO	Revisions HTIFO-2 and HTIFO-3 (serial port) From revision HTIFO-4 onwards (USB)

Classification

Revisions FS-HTCS-2-10EN and FemiScan MultiTrainer FS-MTR-1-10EN

MDD Classification:	Class IIa
Type (EN60601-1)	Type BF
Compliance with:	MDD 93/42/EEC, EN60601-1:1998, EN60601-1-2:1993, EN60601-2-40:1998, CAN/CSA-C22.2 No.601.1-M90
FDA 510(k) N:o	K993411 (for FemiScan HomeTrainer)
Regulatory class	Class II 21 CFR 884.1425/Procode: 85HIR 21 CFR 876.5320/Procode: 78KPI
Compliance with:	21 CFR Part 820

Overall system

Measuring range vaginal EMG	0 - 220 µV (during home measurements) (for clinic use see FemiScan™ Clinic Set specifications)
Measurement accuracy vaginal EMG	± 6 % or ± 3µV (whichever greater) (accuracy not specified at range > 220µV)
Measurement repeatability vaginal EMG	± 2µV
Operating temperature	+10 ... +40 °C
Storage temperature	0 ... +40 °C
Relative humidity	< 90%
Ambient pressure	500 – 1060 hPa
Weight	75 g (Home Trainer with Cover) 84 g (MultiTrainer without cables)

Subsystems

Home Trainer and MultiTrainer

Channels:	2 vaginal EMG channels
EMG type:	Averaged surface EMG
Measuring modes:	Averaged off-line to internal memory Averaged on-line to PC Software (with FemiScan™ Clinic Set)
Internal memory	32 KB
Recording times:	Typically 60-100 training sessions
Power source:	Alkaline battery, non chargeable type AAA LR03 1.5V
Typical running time	> 20 hours (starting with full and fresh battery)
Current consumption	Typically 30 mA

Microprocessor:	8-bit CMOS
Crystal freq.	2.0 MHz
Clock freq:	0,154 MHz
Signal processing	Analog full-wave rectification and low pass filtering
AD-conversion	8 bits
Sampling rate:	10 samples/sec
Amplification	Total 12890
Sensitivity:	1 µV
Resolution:	1 µV
Filtering band	11-530 Hz (3dB points)
CMRR	Typ. 100 dB
Noise	$\leq$ 2 µV in the measuring band

Physical information:

FemiScan HomeTrainer (FS-HTCS-2)

Dimensions:	100*45*74 mm (with Cover installed on)
Weight:	75 g (with Cover installed on)
Enclosure class:	IP67

FemiScan MultiTrainer (FS-MTR-1)

Dimensions:	103*54*24 mm (without cables)
Weight:	84 g (without cables)
Enclosure class:	IP20

Headphone options

Headphone (dual earphone with bail) (code VP00187)

Type	2 channel, monophone with volume control
Cable length	1.30 m
Weight:	76 g

System box

Type:	Cardboard
Dimensions:	235*175*62 mm
Weight:	135 g

PC Software, compatibility

See FemiScan™ PC software User's Manual chapter TECHNICAL SPECIFICATIONS

Cover

See separate TECHNICAL SPECIFICATIONS for FemiScan™ Cover after these pages

Options

Set of replacement System boxes

- includes unfolded System boxes with internal parts and foams

Standard accessories

-

FemiScan^{TM} Cover

Classification

MDD Classification:	Class IIa Compliance with: MDD 93/42/EEC, EN60601-1:1998, EN60601-2-40:1998, CAN/CSA-C22.2 No.601.1-M90 EN 980:1996/A1, ISO 780:1997(E), ISO 10993-5 and ISO 10993-10
FDA 510(k) N:o:	K993411
Regulatory class:	Class II 21 CFR 884.1425/Procode: 85HIR 21 CFR 876.5320/Procode: 78KPI
Compliance with:	21 CFR Part 820, EN60601-1:1998, EN60601-2-40:1998,

Overall system

Reorder code (REF):	900028
Type:	Aseptic electrode for vaginal EMG biofeedback - “SINGLE USE” (at clinic use) - “SINGLE PATIENT USE” (at home use)
Operating temperature:	+10 ... +40 ^{O}C
Storage temperature:	0 ... +40 ^{O}C
Relative humidity:	< 90%
Ambient pressure:	500 – 1060 hPa
Manufacturing method:	In controlled clean room environment (Class 2, R 100000)
Single package:	Sealed plastic bubble
Delivery package:	50 pieces in cardboard box with sealed double plastic bag
Validity period:	2 years from checking

Compatibility with FemiScan^{TM} products

FemiScan^{TM} Clinic System

Clinic System FS- ICTRA	From revision FS-ICTRA-2 onwards
IncoTrainer ICTR	From revision FS-ICTR-1 onwards
Clinic Trainer	From revision ICPR-0 onwards

FemiScan^{TM} HomeTrainer Set and FemiScan MultiTrainer

Home Trainer Set FS-HTCS	From revision FS-HTCS-2 onwards
Home Trainer Set FS-HMTR	From revision FS-HMTR-1 onwards
MultiTrainer with PassiveProbe	From revision FS-MTR-1 onwards

FemiScan^{TM} Clinic Set

Clinic Set FS-CTS	From revision FS-CTS-1 onwards
Home Trainer Set FS-HTCS	From revision FS-HTCS-2 onwards
MultiTrainer with PassiveProbe	From revision FS-MTR-1 onwards

Technical details

Electrode contacts:	6 longitudinal, 45*4 mm each
Dimensions:	9*45*74 mm, diameter max. 27 mm
Weight:	16 g (without package)

Cleaning

Cleaning and disinfection:	Allowed only at home use under supervision of health care personnel (See appropriate FemiScan^{TM} product User's Manuals)
Cleaning temperature:	Max 50 ^{O}C

10 : ホームトレーナのクリニング

NOTE!

この章では、２つのクリニング方法説明しています。
セクション 18.1 自宅使用,は、使用する患者さんがクリニングする責任があります。
セクション 18.2 クリニック使用は、違う患者さんに装置を渡す前にクリニックでクリニングする責任があります。.

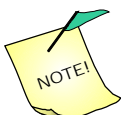
フェミスキャンホームトレーナは、1 回に 1 人の患者さんが使用します。
定期的なトレーニングとクリニングは、装置の機能を維持し、細菌の増殖を抑えます。
トレーニングを始める最初にクリニングと消毒は、装置の次の患者さんへの入替えの際感染の危険を極力防止できます。.

WARNING

ユーザに対してクリニングと消毒の必要性は、フェミスキャン商品の使用方法に適用されていることを説明してください。

17.1 自宅で使用中の機器のクリニング

ホームトレーニングは、詳細にわたり取扱方法、クリニングの説明がされています。
クリニングの説明書はまた「'Instruction Guide」としてホームトレーナーセットに付いています。

NOTE!

もし膣内の感染症と診断された場合は、完治するまでトレーニングは、延期してください。また生理期間も行わないで下さい。

10.1.1 Home Trainer

各治療後カバー電極を外してホームトレーナは、濡れた布かペーパタオルで拭きます、必要があれば温かい水で濯ぎます。
装置を洗浄したあと注意して水を切りペーパタオルを使用して乾かしてください。
注意点としてヘッドホンのソケットやケーブルの挿し込み口を避けて洗浄してください。

WARNING

患者さんが正しい使用をしているか確認して下さい、自宅で使用する前に患者さんと一緒に **Instruction Guide, Home Trainer Set'**を使用して説明してください。.

CAUTION

表面のプラスティックや金属部分を堅いもので傷をつけないこと

17.1.2 カバー電極

未開封のパッケージ内のフェミスキャンカバー電極は、滅菌され洗浄したあといつでも使用出来る状態になっています。.
自宅トレーニングで患者は、カバー電極１つに対してクリニングマニュアルに従って最大３０セッション使用することが可能です。使用出来なくなったカバーは、家庭用のごみとして廃棄されます。患者は、自宅トレーニングできる十分なカバー電極の数を与えられる必要があります。

WARNING

クリニックの環境下では、カバー電極は、１回使用した後廃棄します。
自宅トレーニングの環境下では、患者 1 人の使用に限られています。
自宅トレーニングを行う前に正しい使用方法、洗浄、廃棄方法を説明します。

各トレーニングのあと外側は、温かい水で洗浄します。必要であれば薄めた石鹸水で洗います。洗浄した後カバー電極は、きれいな水で濯ぎます。ペーパタオルで拭いて外気に１５分ほど置きます。自然に水けがなくなったらシステムボックスに被せます。

CAUTION

表面のプラスティックや金属部分を堅いもで傷をつけないこと
もし必要であれば柔らかいスポンジかブラシを使用します。ソフトプラッティックにダメージにならない様に 50 度以上の温水で使用することは、避けてください。!

17.1.3 ヘッドホーン

もしヘッドホーンをクリニングする場合、最寄のディラーに交換かクリニングだけかを申し出てください
.

17.2 患者間の機器の交換

クリニックでクリニックセット、ホームトレーナを使用する前、詳細についてクリニングマニュアルを読んでください。患者から自宅トレーニングの後クリニックに装置が戻ってきた時、データをコンピュータにダウンロードする前まで装置を洗浄してください。この様にして、附属品を介して患者間の汚染は、防ぐことが出来ます。.

17.2.1Home Trainer（ホームトレーナ）

ホームトレーナは、温水で濯いで必要であれば薄めた石鹸水で洗ってください。
ホームトレーナの表面についた埃は、柔らかいブラシで落してください。
金の接続ピンの接続口は、丁寧に濯いでください。

CAUTION

表面のプラスティックや金属部分を堅いもので傷をつけないこと

ホームトレーナの水を良く切りペーパタオルなどで拭いて乾燥させてください。ヘッドフォーンの金色のピンのある差込口に水気がないかチェックしてください。

ホームトレーナは、エタノール、イソプロパノール r、Glutaraldehyde2.5%溶液等に浸して消毒することも可能です。消毒液の製造元の使用説明に従い、殺菌の後ホームトレーナは、きれいな水で洗浄して使用前に乾燥してください。

CAUTION

ホームトレーナは、オートクレーブや自動洗浄器で洗わないで下さい!

17.2.3Cover（カバー電極）

使用したカバーが患者より返却された時点で、すぐに装置から外して医療廃棄物として捨ててください。

WARNING

一度使用したカバーは、消毒は、しないで下さい。
汚染の危険性からカバー電極は、一人の患者に対して使用してください。
もしカバー電極が返却されたら廃棄してください。

17.2.4 ヘッドホーンシステムボックス

ヘッドフォーンのイアーパットとケーブルは、薄めた石鹸水をしみこませた布で拭いてください。
もし必要であればヘッドフォーンのプラスティック部分、プラグ、ケーブルは、イソプロパノール（最大６０％）で 必要に応じて消毒する。イアーパットは、取外して石鹸で洗浄して温水で濯ぎます。
使用したシステムボックスは、輸送の為だけのものですので廃棄して下さい。

17.2.5PC インターファイス

必要に応じて洗浄液と布で拭いてください。

CAUTION

クリニックセットのインターフェイスを開けないで下さいまた光ケーブルをインターファイスより抜かないで下さい。
ケーブルは、強く曲げたり、きつく巻いた状態で保存しないで下さい。
クリニックセットのインターフェイスを液体に浸さないで下さい。

17.2.6 新規患者へのシステムの準備

新しい患者さんへは、装置を洗浄、乾燥して渡してください。
データーをダウンロードする際電池の充電状態を確認してください。
もし１．２Ｖ以下の場合は、電池を抜いてダウンロードデータに問題がないか調べてください。もし１．３Ｖ以下の場合は、次の患者に渡す前に電池を入れ替えてください。

11：メンテナンスとサービス

フェミスキャンクリニックセットとホームトレーナ装置は、洗浄以外のメンテナンスを必要としない高度に電子制御された装置です。
キャリブレーションチェックと光ファイバーのメンテナンスは、以下に示すとおりです。
フェミスキャンのメンテナンスと修理の情報は、フェミスキャンテクニカルマニュアルに記載されています。また最寄のメガ社ディラーからも得られます。

装置は、病院のメンテナンススタッフがフェミスキャンテクニカルマニュアルに沿ってチェックできます。
使用されている電池がどの様に消費されるかマニュアルにしたがってください。
システムの精度は、工場内で調整されますので定期的な調整は、必要ありません。
キャリブレーションチェックは、１２ヶ月に１回または、ホームトレーナが新しいものに変わる度に行ってください。詳細については、テクニカルマニュアルか最寄のディラーに問い合わせてください。

光ケーブルは、定期的にチェックしてください。もしケーブルがこわれていたり折れていたら測定データを失うことになります。こわれたケーブルは、修繕ができません。交換については、最寄ディラーに連絡してください。

株式会社日本メディックス

http : //www.nihonmedix.co.jp e-mail : ssp@nihonmedix.co.jp

本社	〒271-0065	千葉県松戸市南花島向町315-1	TEL.047-368-8711(代)	FAX.047-368-1535
沼南工場	〒270-1444	千葉県東葛飾郡沼南町若白毛1157	TEL.04-7193-3333(代)	FAX.04-7193-3311
埼玉物流センター	〒349-0135	埼玉県蓮田市井沼620-20	TEL.048-766-2669(代)	FAX.048-766-2264
大阪支店	〒564-0044	大阪府吹田市南金田2-12-18	TEL.06-6369-1201(代)	FAX.06-6369-2088
九州支店	〒811-1311	福岡県福岡市南区横手1-8-2	TEL.092-571-8258(代)	FAX.092-571-8259
鹿児島出張所	〒890-0056	鹿児島県鹿児島市花野光ケ丘2丁目2-12-101	TEL.099-286-1081(代)	FAX.099-286-1082
名古屋支店	〒465-0054	愛知県名古屋市名東区高針台1-201	TEL.052-704-1616(代)	FAX.052-704-1617
長野出張所	〒390-0836	長野県松本市高宮北10-1	TEL.0263-29-0862(代)	FAX.0263-29-0863
札幌営業所	〒007-0861	北海道札幌市東区伏古1条2丁目4-5	TEL.011-787-1182(代)	FAX.011-787-1183
仙台営業所	〒984-0032	宮城県仙台市若林区六丁の目中町6-2	TEL.022-288-2955(代)	FAX.022-288-2956
盛岡出張所	〒020-0161	岩手県岩手郡滝沢村篠木字黒畑137-1	TEL.019-699-1201(代)	FAX.019-684-2445
埼玉営業所	〒349-0135	埼玉県蓮田市井沼620-20	TEL.048-767-1681(代)	FAX.048-766-0199
千葉営業所	〒271-0065	千葉県松戸市南花島向町315-1	TEL.047-703-1750(代)	FAX.047-360-3750
東京営業所	〒113-0034	東京都文京区湯島2-10-6 萩原ビル3F	TEL.03-5689-4611(代)	FAX.03-5689-4615
多摩出張所	〒181-0002	東京都三鷹市牟礼5-13-33 カーサ牟礼B-1	TEL.0422-70-5721(代)	FAX.0422-70-5723
横浜営業所	〒225-0013	神奈川県横浜市青葉区荏田町300-4 ステージ21KONDOビル	TEL.045-911-8421(代)	FAX.045-912-2481
金沢営業所	〒920-0024	石川県金沢市西念4-18-15	TEL.076-222-3811(代)	FAX.076-222-3815
新潟出張所	〒950-2004	新潟県新潟市平島1346-2 ウェルズ21平島	TEL.025-230-3655(代)	FAX.025-230-3641
京都営業所	〒600-8320	京都府京都市下京区西洞院通七条上ル福本町408	TEL.075-353-4822(代)	FAX.075-353-4833
神戸営業所	〒651-0077	兵庫県神戸市中央区日暮通3丁目2-3	TEL.078-252-2336(代)	FAX.078-252-2318
岡山出張所	〒702-8031	岡山県岡山市福富西3丁目7-21 コーポ新川1F	TEL.086-902-5411(代)	FAX.086-902-5412
広島営業所	〒733-0001	広島県広島市西区大芝2丁目13-14 増原ビル	TEL.082-238-7988(代)	FAX.082-238-7987
高松営業所	〒761-8071	香川県高松市伏石町299-5	TEL.087-868-4323(代)	FAX.087-868-4338